

## イネ縞葉枯病の初発生が確認されました！

イネ縞葉枯病の発生が6月9日県東部のハナエチゼンで認められました。昨年より1か月早い時期での初発確認です。

本病はヒメトビウンカによって媒介されるウイルス病（病原ウイルス：RSV）で、分けつ最盛期までに感染したイネ株は枯死しやすいことから、早期に感染するほど被害は大きくなる傾向があります。

ヒメトビウンカの侵入の多い圃場では直ちに防除が必要です。



病原ウイルスRSVの感染が確認されたイネ株



病徴（葉身基部が黄化する）